

札幌市立太平小学校

〒002-8021

北区篠路1条2丁目6-20

【あかつき篠路保育園・太平保育園との連携】

本校では毎年学習発表会の時期に、あかつき篠路保育園、太平保育園と1年生との交流を行っています。学習発表会の前後（今年度は前）に交流会を設定し、1年生が劇などを発表し、保育園の子どもたちに見せています。

その後、今年度はミニ探検で学校の中を園児たちが見て回りました。

校区にある保育園と交流のきっかけは園長、校長との連絡が始まりですが、継続して行ってきたことにより、今では互いの先生の交流も自然になされています。連携先との関係も大変良好です。

【成果】

保育園との交流が活発になったことで、園児たちは小学校の様子を早い段階でイメージできるようになり、交流会を楽しみにしていると聞いています。

また、太平小学校の1年生も久しぶりの自分たちより下の子たちとの交流で、「しっかりやろう」「楽しく過ごそう」という意欲にあふれ、成長が期待される会になっています。

教職員同志の信頼関係も生まれ、引継もきめ細やかに行われるようになってきています。

【考察】

無理せず取り組むことを考え学習発表会前後に設定しました。1年生は園児に自信をもって披露できるものがあり、園児にとっても就学時健診前後ということで、小学校を意識する良いタイミングであると考えています。

幼保小連携推進協議会も同じグループになり、もっと自然な形での交流もできないかと話題になっています。例えば、本校のグラウンドに園児が遊びに来る時間を設ける計画も話し合っています。事前の話合いをもたなくても、「いつでもどうぞ」と言える体制や関係づくりに、今後とも努めていきたいです。



【学習発表会の劇を保育園の園児に見せています】



【園児たちも、マイクを使って自己紹介をしました】



【太平小学校ホームページで紹介】

札幌市立新琴似南小学校

〒001-0901

北区新琴似1条3丁目1番地1

【新琴似中央保育園との連携】

- ・総合的な学習の時間「幼稚園・保育園交流」で実施。

【ねらい】

園児を喜ばせたいという思いや願いをもって、その達成に向けて、様々な情報(日常生活の中で自分より小さい幼児と接した経験、保育士から聞いた話や下見で得た情報など)をもとに、交流内容や方法を考え、園児との交流をよりよいものにしていくことができるようにする。

- ・5年生が企画した遊びを通して、保育園児(2歳児・3歳児・4歳児・5歳児)と交流する。
- ・昨年度から継続して実施している。
- ・新琴似中央保育園の園児の一部が、新琴似南小学校に入学予定。



一人一人とふれあうグループ



読み聞かせをするグループ



対話をしながらぬりえをするグループ

【成果】

- ・計2回の交流を進めていく中で、相手の立場を考えて接する力が育った。
- ・交流の前にグループのリーダー(児童)が保育園に行き、保育園の先生方に遊びや進め方のアドバイスもらった。綿密に打合せができたため、当日はスムーズな交流が行えた。
- ・交流①の準備段階では、就学前の子どもとの交流経験が無い児童が多く、園児との交流を具体的に想像できていなかった。しかし、交流①で園児と触れあったことで、交流②では、より園児に合った遊びの内容を考えることができた。また、目線を合わせて話すこと・相手が聞いてくれる話し方なども考えて、交流を行うことができた。2回の交流を通じて、児童の成長が見えた。
- ・保育園交流をとっても楽しみながら、積極的に活動に取り組む児童が多かった。

【考察】

- ・交流を2回行うことで、交流①の反省を生かしながら、交流②の計画・実施を行うことができた。できれば、3・4回と回数を増やすことで、さらにPDCAサイクルが確立し、児童の成長が見えると思う。
- ・保育園と小学校の行事の兼ね合いを見ながら、日程調整をすることが必要。

【あいの里保育園との交流学習】

ようこそ！あいの里西小学校へ

<日時>12月16日(水) 2, 3校時(9:30~11:30)

<場所>玄関ホール→理科室・音楽室・コンピューター室→体育

<内容>

- 1、玄関ホールであいさつとグループ作り … 9:30~
 - * 1年生はグループごとにならんで待つ
 - * 園児が来たら、歓迎のあいさつをする
 - * 同じグループの子の名前を呼んでグループになり、1年生、園児、それぞれ自己紹介をする。
 - * 学校探検紹介グループはそれぞれの教室で準備する



- 2、学校たんけん … 9:45~
 - * 全員そろったら学校たんけんに出発する。
理科室・音楽室・保健室・図書室・体育館
 - * 10:15からの中休みは、1年生教室でグループごとに自由に過ごす



- 3、体育館で、ゲーム、おにごっこ … 10:45~
 - ①王様じゃんけん
 - ②おにごっこ



- 4、体育館でお別れのあいさつ … 11:10~
 - * 最初の形で並ぶ
 - * いっしょに歌う「さんぽ」…園児も歌える歌にする。

【成果と課題】

前年度は、インフルエンザの流行により中止となったが、今年度は交流を実施することができた。準備段階も含め、保育園の子どもたちを迎えるためにと、熱心に取り組み、大きな成長が見られた。今後も継続していく予定である。

札幌市立新光小学校

〒001-0901

北区新琴似1条12丁目1-1

【そうせい幼稚園・新川北保育園との連携】

幼稚園とは年間4回、保育園とは年2回、交流を行っている。

◆種いもを植えよう（5月）

種いもを植えた後は、小学校の遊具等と一緒に遊んだりしながら交流をしている。

◆おいもほり・おいもパーティー（8月）

いもの収穫後は、茹でた芋と一緒に食べたりしながら交流をしている。

◆学習発表会見学（11月）

1年生の練習風景を見学に来る。

◆小学校探検（2月）

学校内の様々な教室を見学したり、1年生の授業風景を見学したりしている。また、学校の先生への質問コーナーなどを設け、子どもたちの疑問や不安などにも応える場面も設けている。



小学校の畑で幼稚園児と一緒に種いもを植えている様子



おいもパーティー

上記の他にも、幼稚園の先生に小学校での活動の様子を見学に来ていただいたり、小学校からも幼稚園に1年の担任が訪問し、子どもたちの成長の様子を報告したり、お互いの教育活動の充実を図るために、教師間での幼小懇談会を行っている。

【成果】

- ・連携前は小学校入学後、学校生活に慣れるまで時間がかかったり、不安を感じたりする子が多かったが、連携を始め、実際に小学校に来ることにより、スムーズに学校生活に入れる子が多くなった。また、学習発表会や授業風景の見学は、後輩から見られることで、お兄さんお姉さんの意識をもって学習活動に取り組んでいる。

【考察】

- ・保護者も幼稚園との交流があることで、大きな不安が少なく就学がスムーズにできた大変喜んでいる。
- ・年に数回の交流ではあるが、より交流の幅を広げたり、どのような活動が適切か検討する必要がある。お互いが無理なく行える形でカリキュラムを編成し、継続していきたいと考えている。

【つよし幼稚園との連携】

～年3回の交流会～

屯田南小学校では校区内にあるつよし幼稚園の年長の幼児と1年生とで、年3回の交流会を実施。

- ・ 1回目：10月 つよし幼稚園にて ゲームを中心とした集会
- ・ 2回目：12月 屯田南小学校にて 学校の教室などを案内
- ・ 3回目：2月 屯田南小学校にて 雪中運動会



2回目の学校案内。
まずは、自己紹介！1年生が
がんばってリードしています

1回目の交流は顔合わせとして、つよし幼稚園を訪問しての交流、2回目は屯田南小学校に来ていただき小学校の学校案内、3回目は雪遊びと、小学校の入学に向けて、「学校は楽しいところ」という意識を高めていける活動を考え実施している。2・3回目は、小学校で行うことで入学に向けての期待感を高めることをねらいとしている。

【 成 果 】

- ・ 幼稚園との交流を行うことで、1年生は「自分たちはお兄さん・お姉さん」という意識が生まれ、「幼稚園の子どもたちに伝えるにはどうすればいいのか」ということを、自分たちの経験を通して一生懸命考えられるようになった。
- ・ 幼稚園の先生とも顔を合わせる機会が増えることで、お互いの取組や子どもの様子などを交流することができるようになった。

【 考 察 】

- ・ この取組を継続していくことで、本校では生活科のカリキュラムに位置付け、学習の一環として取り組むことができている。その取組が記録化されることで、次の1年生にも内容が引き継がれ、活動を続けることができている。
- ・ お互いの交流をすることで、幼稚園と小学校が顔を合わせる機会が増え、教員間の距離が縮まった。子どもの様子を交流し合いながら、入学に不安がないよう、引き継ぐことができる。
- ・ 現在はつよし幼稚園との交流が中心であるが、校区内にある屯田保育園、すずらん保育園とは、小学校の施設（グラウンドやプールなど）を使っていただくことや、行事の見学などを行うことなど、今後も、双方に無理のない形でのつながりを模索していきたいと考える。



「ここは職員室です」と、自分たちで考えて説明をします。1年生にとっても、自分たちの学校を改めて見直すことができます



最後はアーチでお見送り。
春の入学が待ち遠しいです！

札幌市立百合が原小学校

〒002-8081

北区百合が原6丁目5番1号

【百合が原幼稚園との連携】

本校と百合が原幼稚園は、徒歩5分で行き来できる場所にある。昨年度より、1年生と幼稚園の子どもたち同士の関わりを深めたいと季節ごとに交流をもってきた。今年度は、交流時期や交流内容の検討と入学時期の異学年交流を視野においた5年生と幼稚園児の交流の導入の検討をすることとした。

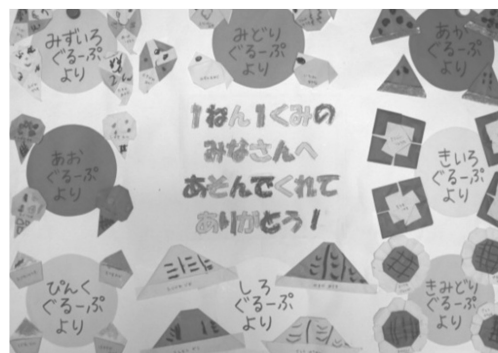
- | | |
|-----|--|
| 5月 | 運動会練習見学（小学校体育館にて） |
| 7月 | 百合が原公園での交流（グループ遊び） |
| 9月 | 1年生教室での交流
（教室体験・ペアを生かしたグループ遊び） |
| 10月 | 文化交流①発表会演目（幼稚園ホールにて） |
| 11月 | 文化交流②発表会演目（小学校体育館にて） |
| 2月 | 校内探検・体育館でのレク交流
（5年生・ペアを生かして全体レクゲーム） |

【成果】

今年度は、昨年度より交流の回数を増やし、交流内容も、新たなものを模索することができた。本校児童にとっては、自分より年少の子にどのように接するとよいのか考えるきっかけとなり、相手意識が芽生えていった。園児にとっては、一緒に活動することで学校の雰囲気になれ、入学への期待感と安心感を膨らませる機会になったと捉えている。特に、今年度2月に行った園児と5年生の交流は今後も大切にしていきたい。5年生にとっては4月からの1年生との関わりを自分ごととして捉えるきっかけとなり、園児にとっては、体の大きさも言動も違うお兄さんやお姉さんが自分達を優しくサポートしてくれると感じる機会となり、両者にとって新学期の緊張を和らげることに繋がると考えたからである。

【考察】

2年目となり、連携を取りながらスムーズに交流を進めることができた。今後も、児童の実態と願う育ちを考慮し、より充実した取組になるよう、実施時期、内容、形態など工夫と改善に努めていく。



活動をつなぐカードの交流



教室体験・グループ遊び（1年生）



校内探検・体育館でのレクゲーム（5年生）



札幌市立屯田北小学校

〒002-0859

北区屯田9条3丁目4-1

【幼稚園・保育園との連携】

本校は、隣接する「太陽こころ幼稚園」「屯田桃の花保育園」「屯田大藤保育園」との連携を進めている。

具体的には、夏季休業期間を利用した「小学校体験学習」「学習発表会観覧」「1・2年生の生活科交流」「6年生の総合的な学習の時間」等である。

右の写真は、2年生が学習発表会で取り組んだ「地獄のそうべい」を生かしたお店づくり「夢ランド」に屯田桃の花保育園の園児を招待した場面である。

2年生にとって初めてのお店づくりに園児と交流をもつことで、関わり合いの大切さや教える場面の必要性を学ぶことができた。



2年生の生活科「そうべいランド」

屯田桃の花保育園さん

【成果】

子どもたちの交流や心の触れ合いが生まれることはもちろんであるが、同じ屯田地区における教育現場の職員同士が、事前の打合せや当日の運営を通して面識をもち、情報交換や共有ができたことが大きな成果である。双方が協力的に進められたと感じている。



「小学校体験チャレンジ」

屯田大藤保育園さん

【考察】

昨年の11月に実施した「学習発表会」には、3園の園児の皆さんに来てもらったが、観覧時間の設定や観覧場所の確保など新たな課題も出てきている。大切なことは、どのような取組においても双方の事情等をお互い考慮しながら、前向きに検討していく姿勢を今後も大切にしていこうと考えている。



1年生の生活科「みんななかよしミニ運動会」

太陽こころ幼稚園さん

北
区